

別紙1 教育保育の主な内容

所在する年齢別		6箇月未満	6箇月から1歳3箇月未満	1歳3箇月から2歳未満	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
保育・教育のねらい		一人一人の生活リズムを重視し、食欲・睡眠・排泄など生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。	一人一人の子どもの甘え、依存的欲求を満たし、情緒の安定を図る。	大好きな人との間で自我の芽生えを育む。身のまわりのことに興味や好奇心が芽生える。	衛生的で安全な環境で心身ともに快適な生活を送る。全身を使って遊ぶ。	保育者や友達と生活し遊ぶ中で自分のしたい事を言葉や行動で表現しようとする。	保育者や友達と一緒に遊びながら、つながりを広げ、集団としての行動が出来るようになる。	身のまわりのことがほぼ自立する。仲間意識が芽生え、友達と力を合わせたり、協調性が育つ。	健康や安全に必要な基本的習慣を身に付け、その理由を理解して行動する。友達の思いを受け入れ、友達との違いを認めながら共通の目的を持って活動する。
望ましい生活動	健康	首がすわる。握る、寝返る等手足の動きが活発になる。	座る、這う、直立歩行へ。	身のまわりの簡単な事を自分で行う。	生活の中で援助してもらいながら自分で出来た事に喜びを感じる。	身のまわりを清潔にし、生活に必要な活動を自分でしようとする。	生活習慣を身に付け、運動にも興味を示し行う。	生活習慣が身に付き、スポーツにも興味を持つ。	健康な生活習慣・運動等に興味を示し、参加する。
	人間関係	愛情豊かで適切な保育者との関わりにより、配慮する。	特定の保育士との関わりにより、信頼関係が生まれる。	保育士や友達に関心を持ち、真似をしたりして自ら関わろうとする。	生活や遊びの中で順番を待つ等の決まりがある事を知る。	友だちと簡単なルールのある遊びをする中でルールを守ろうとする。	社会の決まりや習慣に興味を持つ。	身近な社会の事象に興味を示す。	人との連携がとれ、ことばが正しく使える。
	環境	衣食住を常に安全な状態にし、静かな環境を作る。	安心できる人的および物的環境の下で、感覚の働きを豊かにする。	好きな玩具や遊具に興味を持って関わり、様々な遊びを楽しむ。	自然と触れ合う中で好奇心や欲求心が生まれてくる。	身近な動植物に親しみを持つ。	自然の変化に気付き、生き物に親しみや愛情を持つ。	身近な動植物を愛し、数や図形に興味を示す。	動植物や自然の神秘に興味を持つ。
	言葉	笑う・泣く子の発声に優しく応答しながら喃語を育む。	語りかけられることにより、声を出したり、応えようとする。	話しかけややりとりの中で声や言葉で気持ちを表そうとする。	生活や遊びの中で簡単な言葉でのやりとりを楽しむ。	経験したことや生活の中の言葉を使い、自分の思いを伝えようとする。	生活に必要な言葉を覚え、意志を伝えられる。	話を理解し、自分の経験や思いを人に伝えられる。	絵本・紙芝居・素話等から想像力を豊かにし、日常生活で使ってみようとする。
	表現	笑う、泣く、アー、ウーの発声等で快・不快の欲求を表す。	土や水等の素材に触れ、全身で感触を楽しみ感性を育む。	保育士と一緒に歌ったり、手遊びをしたり、リズムにあわせて体を動かして遊ぶ。	保育士や友達と遊ぶ中で、自分なりのイメージを膨らませ、楽しんで遊ぶ。	のびのびと動きのリズムを楽しみ歌ったりする。	音楽に親しみ、聴く事に興味を持ち、表現する事を楽しむ。	音楽・絵本・芸能等に親しみ、想像力を豊かにする。	感じたこと、考えたことを音・絵・動き等で表現しようとする。